

3学年だより

NO 597

飛翔

令和3年2月26日



小田原市立城山中学校
学年主任 水野喜代治

感謝の気持ち (礼法を極める) NO 2

あと、卒業まで、10日となりました。10日といっても、卒業式当日を数えないと、実質9日となります。さらに、3月1日(月)が公立高校の合格発表なので、全員がそろえるのは、8日となります。1日、1日過ぎるたびに、別れを意識して生活してください。今日の自分と明日の自分の気持ちが同じでは、大切な時間が日常のように通り過ぎてしまいます。

入場でみんなが列になって練習するのも、担任の先生から呼名をされて返事の練習をするのも、みんなで、パートになって練習するのも、あと8日です。みんなとの触れ合いを大事に生活してください。給食や何気ない日々の生活もすべて、卒業とともに現実の場面でなくなり、すべてが思い出となってしまいます。二度と繰り返されることがない限られた日々を大切にしてください。

合否を受け止める

3月1日(月)はいよいよ、公立高校の合否が発表される日です。高校を選択するのに、どの生徒も真剣に悩み、いろいろな人のアドバイスを受けながら、最後は自分で決めきることができたと思います。15歳の最初の進路選択で一番大切なのは、自分で納得した進路が選択できたか、そして、その選択した進路に向かって、精一杯努力することができたか、最後に、その選択した進路の合否をしっかり受け止められたかです。どの生徒も、覚悟を決めて、進路選択ができていました。合否の発表によって、第1希望でなく第2希望の高校に進む生徒もいるかもしれませんが、胸を張って、最終的に決まった高校で自分を思い切って伸ばしていきましょう。精一杯頑張ったのだから悔いはないと思います。結果を受け止めることが覚悟を決めるということです。自分が選択した進路にプライドを持って、3月1日(月)の合否を受け止めてください。先生たちは、進路を真剣に覚悟を持って決めた時点で、あなたがたに拍手を送っています。みんな頑張りました。